



2018年12月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ケ イ ブ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 ・ CEO 高 野 健 一
(コード番号：3760、JASDAQ)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 ・ CFO 菊 地 徹
(TEL. 03-6820-8176)

**(訂正) 株式会社KeyHolder との資本業務提携、第三者割当による新株式の発行並びに
主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせの一部訂正について**

2018年12月11日に発表いたしました「株式会社KeyHolder との資本業務提携、第三者割当による新株式の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の内容に一部訂正がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所を下線_____で示しております。

記

<訂正前>

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の目的及び理由

～中略～

持株会社であるKeyHolderは、グループ傘下にライブ・エンターテイメント施設の運営を行う株式会社KeyStudio (以下「KeyStudio」といいます。)をはじめ、テレビ番組制作を行う株式会社KeyProductionなど、様々なエンターテイメント事業を展開しており、当社とは異なる要素を多数有しております。

KeyHolderは、前述のとおりエンターテイメント事業を中心とした持株会社ではありますが、その歴史を紐解くと、元々は1967年12月の設立から2018年の3月末までの半世紀以上にわたって「ゲームファンタジア」及び「アドアーズ」のブランド名で、アミューズメント施設運営を展開してきた背景(注6)を有しており、その頃から当社とも少なからずの接点がございました。

そのため、KeyHolderは、アミューズメント業界に対する知見と理解を有しており、当社の根幹事業であります、スマートフォンネイティブゲームをはじめ、新規事業に関しても有益な助言・アドバイスを頂けるものと考えております。

～中略～

<訂正後>

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の目的及び理由

～中略～

持株会社であるKeyHolderは、グループ傘下にライブ・エンターテイメント施設の運営を行う株式会社KeyStudio（以下「KeyStudio」といいます。）をはじめ、テレビ番組制作を行う株式会社KeyProductionなど、様々なエンターテイメント事業を展開しており、当社とは異なる要素を多数有しております。

KeyHolderは、前述のと通りのエンターテイメント事業を中心にした持株会社ではありますが、その歴史を紐解くと、元々は1967年12月の設立から2018年の3月末までの半世紀以上にわたって「ゲームファンタジア」及び「アドアーズ」のブランド名で、アミューズメント施設運営を展開してきた背景（注6）を有しており、その頃から当社とも少なからずの接点がございました。

その後、2017年12月に当社がSAMURAI&J PARTNERS株式会社（以下、「SAMURAI」といいます。）を割当先として第三者割当増資を実施する際に、SAMURAIの社外監査役である泉信彦氏とお会いし、泉信彦氏からSAMURAIの社外監査役でもあり、前述のアミューズメント施設を運営しているKeyHolderの取締役でもある大出悠史氏を紹介され、ゲームとエンターテインメントの融合について今日まで意見交換をしてきました。今回、KeyHolderと当社は、ゲーム事業とエンターテインメント事業の融合をより具体化していくために協議し、KeyHolderとの資本業務提携を検討するに至りました。

KeyHolderは、アミューズメント業界に対する知見と理解を有しており、当社の根幹事業であります、スマートフォンネイティブゲームをはじめ、新規事業に関しても有益な助言・アドバイスを頂けるものと考えております。

～中略～

以上